

ValueLOG は、低価格で高性能な次世代 CAN FD および LIN 用高性能データロギング装置です。ValueLOG は、Ethernet (DoIP)、4 チャンネルの CAN FD(Including SW CAN) および LIN チャンネルを 1 つのツールに搭載しています。すべてのチャンネルが同時に動作、実行され、ハードウェアでタイムスタンプされます。

アプリケーション

- スタンドアロン・データロガー
- スタンドアロン ECU または車両シミュレータ
- 車載用データ収集システム
- キャプティブテストフリートデータ収集
- 車両管理
- J2534 および RP1210 の車両インターフェース

特徴

- 最大 4x CAN FD
- 最大 1 系統の SW CAN
- 1 系統の LIN/K-Line に対応
- 最大 1 つの Ethernet (DoIP 用 100BASE-T1、2x CAN FD ネットワーク用に切り替え可能)
- 32GB eMMC ストレージ
- データロギング中に位置情報を収集するための外部 GPS アンテナをサポート
- データロギング、シミュレーション、ゲートウェイなどの幅広いアプリケーションを可能にする OBDII 用汎用エンジニアリングツール
- neoVI Universal Connector (NUC) アーキテクチャによる独自の OBD II ピンアウト設定可能 (オプション)
- 9 軸慣性計測ユニット (Option)
- バッテリー付き RTC (Option)
- 32GB eMMC ストレージ

スタンドアロン・ロギング、スクリプト、リフラッシュ、シミュレーション

PC インターフェースとしてだけでなく、スタンドアロンモードでも ValueLOG は車両データを記録することができます。



リアルタイムスクリプトの実行、内蔵フラッシュメモリへのデータ記録、ECU やゲートウェイのシミュレーションが可能です。

また、これらの機能により、フラッシュメモリのデータを使用して ECU をリフラッシュするスクリプトを実行することも可能です。

Vehicle Spy ソフトウェア

Intrepid のソフトウェア「Vehicle Spy」は、ValueLOG に完全対応しています。Vehicle Spy を使用すると、ユーザーはすべての ValueLOG ネットワークで同時に監視と送信を行うことができます。スタンドアロンのスクリプトとデータロギングを設定するには、Vehicle Spy が必要です。ユーザーは、強力なインターフェースを活用してデータベースをロードし、デバイスにダウンロードする前にスクリプトを記述してデバッグすることができます。

スクリプティング機能 - CoreMini

独自のプロトコルをサポートする必要がある場合、また、データロガーと並行して実行するシミュレーションを設定する必要がある場合、その他のカスタムアクションが必要な場合に対応した、独自のニーズに合わせて基本機能を拡張するためのスクリプト環境を提供します。これにより、システム全体が非常に柔軟で適応性の高いものとなっています。



ValueLOG

デバイスの仕様

- 低消費電力
- 電源を供給します。4.5 ~ 40V 動作
- 4つのフルカラーステータス LED
- 温度範囲：-40℃~ +85
- 車載用コネクタ 16ピン OBD 2 オス
- 1年間限定保証
- フィールドアップグレード可能なフラッシュファームウェア
- マイクロソフト認定 USB ドライバ
- 高速 (480Mbps/sec) USB インターフェース
- スクリプト、受信メッセージ、送信メッセージ、式、I/O、トランスポートレイヤーを含むスタンドアロンモード対応
- CAN/ の J2534 および RP1210 A/B 互換性
- ISO15765-2:2016 [CAN FD] 対応
- オンボード 32GB フラッシュストレージ
- バッテリーバックアップリアルタイムクロック (RTC)

タイミング性能

- 64ビットのタイムスタンプは、CAN FD ネットワークで 25 ナノ秒、LIN ネットワークで 10 マイクロ秒の精度でオーバーフローなし。
- 0.5 マイクロ秒の精度で使用可能 (1 ネットワークのみ)
- CAN/LIN の全ネットワークで同時動作可能
- 全ネットワークで送信メッセージのダブルバッファリングを行い、メッセージの連続送信を実現

CAN 仕様

- 業界標準の Bosch MCAN CAN FD コアを使用して、4x ISO CAN FD チャンネルを実装
- すべての CAN ネットワークに対応する CAN 2.0B 互換性
- 4x 専用 ISO11898-2:2015 Dual Wire CAN FD 物理層 (MCP2562FD)
- 1x 専用 Single Wire CAN 物理層 GMW3089 / SAEJ2411 [MC33897]
- アービトラージョンフェーズのボーレートは、ソフトウェアで最大 1Mb/s まで選択可能 (オートボー可能)
- データフェーズのボーレートは最大 8Mb/s までソフトウェアで選択可能 (オートボー可能)
- リスンオンリーモードのサポート
- シングルワイヤ高速モード、テストツール抵抗。および高電圧ウェイクアップをサポート

*Specifications subject to change; please contact Intrepid for the latest information.

All trademarks are the property of their respective owners.

LIN 仕様

- 最大 1x LIN
- LIN 1.X、2.X、J2602 をフルサポート
- LIN J2602 / 2.X 互換の物理層
- ソフトウェアによる 1K LIN マスター抵抗 (チャンネル毎)
- LIN バスモニターモードによるエラーの特定 同期ブレイク・エラーの状態と長さ、同期波エラー、メッセージ ID パリティ、TFrameMax/Slave Not Responding、チェックサム・エラー、送信ビット・エラー
- LIN Bus Master モードは、LIN Bus Monitor と同時に動作
- LIN Bus Slave シミュレーション (LDF ファイルの有無にかかわらず)
- LIN バスハードウェアスケジュールテーブルと LIN 診断のサポート
- Fast Init、Five Baud、Custom を含む初期化波形
- ソフトウェアで選択可能なボーレート

Ethernet 仕様

- DoIP / XCP / Automotive Ethernet 10/100 Ethernet PHY、低消費電力モード、RAD-Moon メディアコンバータを使用した 100BASE-T1 / BroadR-Reach® と互換性あり
- RAD-Moon メディアコンバータアクセサリ ソフトウェア制御
- DoIP アクティベーションライン

発注情報

品番	内容
VALUE-LOG	ValueLOG デバイス 一式

Rev.14072022



株式会社日本イントリッド・コントロール・システムズ
〒164-0003 東京都中野区東中野 1-59-6 信菱ビル 3F
Phone: +81-(0)3-5937-1523 FAX: 03-5937-1524
Email : icsjapan@intrepidcs.com
<http://www.intrepidcs.jp/>



www.aeta-rice.com